

## 令和元年度第1回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和元年6月25日(火) 13:30～15:29
会 場	茂原市役所 市民室
出席委員	中山会長、平井副会長、齊田委員、片柳委員、篠田委員、長島委員、佐藤委員、佐野委員、河野委員、加藤木委員、田丸委員、荒谷委員
関係課	久我教育部長、渡辺教育部次長兼教育総務課長、保川学校教育課長、金坂主幹
事務局	中村福祉部長、佐久間子育て支援課長、齊藤課長補佐、岡沢子育て家庭相談室長、時田主事、株式会社ワイズマンコンサルティング
傍聴者	1人
配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料 1-1 幼児期の学校教育・保育の見込量と確保策</li><li>・資料 1-2 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策</li><li>・資料 1-3 分野別施策の推進</li><li>・資料 2 (仮称) 北部認定こども園運営事業者の募集結果及び(仮称) 南部認定こども園の整備方針(案)について</li><li>・資料 3 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画(骨子案)</li></ul>

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 委 嘱
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選任
- 5 あいさつ
- 6 議 事
  - (1) 平成30年度茂原市子ども・子育て支援事業計画による進捗状況について
  - (2) (仮称) 北部認定こども園運営事業者の募集結果及び(仮称) 南部認定こども園の整備方針(案)について
  - (3) 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の集計結果について
  - (4) 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について
- 7 その他
- 8 閉 会

## 会議要旨

### (福祉部長あいさつ)

皆様こんにちは。福祉部長の中村と申します。平成 27 年度より幼児期の学校教育保育及び地域の子育て支援の総合的な推進を目的とした子ども・子育て支援新制度の導入にともない、平成 25 年 11 月に茂原市子ども・子育て審議会を設置しました。旧委員の皆様につきましては、第 1 期茂原市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり様々なご意見をいただくとともに、これに基づく施策の推進に御尽力いただきました。今年度の委員の皆様には、令和 2 年度から令和 6 年度までを計画期間とした第 2 期茂原市子ども・子育て支援事業計画の策定についてご審議していただくこととなります。よろしくお願いいたします。

### (会長・副会長の選出)

- ・委員より自薦、他薦がないため事務局より提案
- ・会長に中山清志委員、副会長に平井きよみ委員を選出

### (会長あいさつ)

「未来に輝くこどもたち みんなで育てるまち もばら」

大人は子どもを大事にしなければなりません。最近では、生後 2 か月の子どもをわざと足元に落としたり、冬に浴室で冷水をかけられ子どもが亡くなったり、このような児童虐待の例がたくさんあります。また、今は核家族化の進行や地域のつながりが希薄化している等、様々な子育てに関する問題があります。その中で子育ての根本はどこにあるのかと考えますと、それはやはり家族だと思えます。家族が協力して子育てをすることは大前提ですが、今の時代はそれだけでは足りません。その地域に住んでいる大人たちが子どもたちを守っていかなくてはなりません。そして大人たちも一緒に成長していかなければ、決して良い地域にはならないと思っています。

今日の会議を進めていくなかで、我々は茂原市の子どものために何をしていくべきなのかを第一に考えなくてはなりません。多くの子育て関係の団体の方が活動していますが、同じ考えでいると思います。今日の会議では、委員の皆様の率直な意見をお聞きできればと思いますのでよろしくお願いいたします。

### (副会長あいさつ)

会長がお話しされたことについて、今日の会議で少しでも前に進めることが出来たら良いと思います。よろしくお願いいたします。

(議事)

(1) 平成 30 年度茂原市子ども・子育て支援事業計画による進捗状況について

<事務局から、資料 1-1、1-2、1-3 に基づき説明>

(委員)

計画の事業については、この審議会で定めたものなのか。それとも国が定めたものなのか。事業の概要について伺います。

(事務局)

計画の 13 事業につきましては、国が示したものであり、地域の実情に応じ実施するものとされています。全部で 14 事業ありますが、「子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業」については、すでに要保護児童対策地域協議会が設置されておりますので、茂原市ではそれを除く 13 事業を計画で定めています。

(委員)

事業番号 3 の妊婦健診の受診率 82.1%とありますが、残りの約 20%はなぜ受診していないのか伺います。

(委員)

保健センター所管の事業のため、私から説明させていただきます。

妊婦健診は全部で 14 回補助が受けられるものとなっておりますが、場合によっては流産してしまったり、入院が必要だったり、妊婦健診という形ではなく医療の管理下におかれる場合もあります。あと早産される場合もあり、全員が 14 回受けられるわけではないので、このような数値となっております。

また、年間 1 件くらいは母子手帳の交付が出産後になってしまうケースもあります。

(委員)

子育て世帯の支援について、ひとり親世帯とかいろいろありますが、所得制限があつて補助が受けられない場合もあります。これでは、子育てをする環境とは言えないと思います。全員に補助してあげた方がよい。所得制限額をかけてしまうと、所得制限の前後の方で差がでてしまい、貧しい親たちが増えてしまいます。

国は今後、働く人口が減るので、定年なし、働けるだけ働けと言っています。これは、お母さんたちにも働けということなので、そこを手厚くサポートできるような予算を茂原市として確保していただきたいと思いました。

(事務局)

子ども医療費につきましては、所得制限の撤廃を平成 29 年 8 月に行いました。

(委員)

ようやく撤廃されました。私もこの会で撤廃してほしいと発言しました。所得階層が高いからといって裕福ではありません。学校教育と同じようにみんな平等に子育て支援が出来たら子どもの数も増えていくと思います。

(関係課)

就学支援という観点でお話いたします。

毎年、就学援助費による準要保護世帯等への手厚い支援が拡充されています。

以前は、小学校・中学校へ入学する際の準備資金の支給時期に、茂原市は十分なサービスが実施できていませんでした。現在では入学前、もしくは入学後早期の就学援助費や入学準備金の支給を心掛けて制度改善を行っております。

また、交通事故や不審者対策、いじめの問題もありますが、ネット社会にも応じた対応ができるよう努めています。

その他として、プログラミング教育の推進や外国語教育については、平成 31 年度より外国語指導助手を増やして強化をしています。

(委員)

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）についてお伺いします。特に長期休業時に待機児童が発生しているようですが、どの学区で受け入れ体制が整っていないのか。また、夏季は朝から晩まで受け入れを行うため、各学童クラブの支援についてどのように考えているのか伺います。

(事務局)

学童クラブが不足しているのは萩原小学校区と東部小学校区です。東部小学校区は今年度東部小学校敷地内への学童クラブの新設を予定しており、来年 4 月から運営できるように整備を進めています。また、萩原小学校区については、待機児童が発生していることは承知しておりますが、市として現状の定員以上の確保が困難な状況です。民間事業者や保護者会と協力しながら待機児童解消に努めていきたいと考えています。

(委員)

通常時だと放課後数時間の運営でよいが、長期休業時だと朝から晩まで運営しなければならない。その時期に職員を採用するとなると時給を上げないと集まらないので給与面でのバックアップを考えていただきたい。

(2) (仮称) 北部認定こども園運営事業者の募集結果及び (仮称) 南部認定こども園の整備方針 (案) について

<事務局から、資料2に基づき説明>

(委員)

北部認定こども園の応募事業者はすくすくどろんこの会以外に事業者の応募があったのか伺います。

(事務局)

すくすくどろんこの会を含めて2者から応募がありました。その2者を選定審査会に諮りまして、すくすくどろんこの会に決定いたしました。

(委員)

北部認定こども園の定員を170人とする根拠を教えてください。

(事務局)

統廃合の対象となる本納保育所と豊岡幼稚園の利用者数を考慮して設定いたしました。

(委員)

茂原市全域の方が利用可能ですか。

(事務局)

茂原市の利用圏域は市内全域で設定しています。

(委員)

北部認定こども園の土地について無償で貸す理由を伺います。東部小では学童クラブを新設予定ですが、なぜ校舎内の教室を使わないのかといった意見もありました。校舎は老朽化が進んでおり、保護者会がボランティアで修繕やプールのペンキ塗りをしています。他の学校も同じ状況だと思います。15年間無償で貸せるのであれば、その分を他の予算に回せないかと思って質問いたしました。

(事務局)

事業者負担の軽減を目的としています。北部認定こども園の直接的な運営は民間事業者が行いますが、公私連携幼保連携型認定こども園といった観点から、市と民間事業者が連携して運営していくため、土地は15年間無償貸与といたしました。土地の無償貸付期間につきましては、当初の募集では応募がなく、再募集をしたという経緯もありますので、応

募条件の緩和のため無償貸与の期間を10年から15年に延長しました。

(事務局)

茂原市は他市と比較して公立保育所の数が非常に多いです。公立の施設の統廃合を行い、民営のこども園を整備することで、職員の人件費削減にも繋がると考えています。

(事務局)

東部小学校での新設工事の話をされましたが、なぜ校舎を使えないかという疑問を持つのは当然だと思います。校舎を使っている学童クラブは他にありますし、茂原市としても校舎を使いたいと考えています。しかし校舎を使うとなると普段学校で使用している部分と明確に区切らなくてはならないだとか、鍵が必要だとかいろいろな制限が出てきます。それを学校も対処できないということで、全ての学校内に学童保育が整備できていない状況です。

(議事)

**(3) 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の集計結果について**

＜株式会社ワイズマンコンサルティングより、第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査集計結果報告書に基づき説明＞

(委員)

ニーズ調査の設問で子どもの預かり保育について、仕事があるから預けたいのか、仕事に関係なく預けたいのかといった質問の区分けはありますか。

(株式会社ワイズマンコンサルティング)

仕事のあるなしに関わらず、「子どもを預けたい」という希望をお答えいただいております。

(議事)

**(4) 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について**

＜事務局から資料3に基づき説明＞

(事務局)

この計画については、昨年度実施したニーズ調査の結果を踏まえて国からの基本指針に沿って策定することとされています。まだ国から基本指針が示されておられませんので、詳細は分かりませんが、いまのところ大きな変更はないと伺っておりますので、基本的には

第1期計画を踏襲して策定する方向で考えています。内容についてはこの審議会で語り、意見を伺いながら、令和2年度から5年間、茂原市がこういった方向で子育て世帯に対して支援をしていくのか、市の方向性を示せる計画にしていきたいと考えております。

骨子案の計画の位置づけについてですが、子ども・子育て支援の他、次世代育成支援対策推進法に配慮した計画や子どもの貧困対策推進計画を包含した計画となっておりますが、本市の実情を踏まえて来年3月の策定に向けて取り組んでまいります。

(会長)

全体を通してご意見等はございますか。ないようでしたら、これで議長の任を解かせていただきます。

皆様、お疲れ様でした。

(その他)

(事務局)

最後に事務局よりご連絡をさせていただきます。

次回の審議会ですが、7月25日(木)の開催を予定しております。後日改めて開催案内を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の議事録を後日郵送させていただきますので、加筆修正等がございましたら、次回の審議会の中で確認させていただき、その後に茂原市ウェブサイトにて公表したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(閉会)

(事務局)

長時間にわたり慎重なご審議を頂き、ありがとうございました。以上をもちまして「令和元年度第1回茂原市子ども・子育て審議会」を閉会させていただきます。お疲れ様でした。